

運営推進会議記録

開催	平成28年 12月 23日 (金)	場 所	グループホームさくらの里ホール
日時	13時30分 ~ 13時50分		
参加者	(地域)松尾西5町内:T様 ささえりあ熊本西:O様 (ご家族)A様 K様 M様 (さくらの里)管理者:下川 司会・議事録:吉富		
管理者より いつも当法人及びさくらの里にご尽力いただき誠にありがとうございます。また年末のお忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。今年には地震で大変な思いをした一年でしたが、今度はノロウイルスの注意報が熊本市で発令されており色々大変な一年でした。幸い入居者・利用者の方にけが等なく、建物も少しずつ修復が進み、また元の状態を取り戻しつつあります。平素より運営推進委員の皆様やご家族の皆様にお世話になっていることに感謝するとともに、来年も変わらずご協力いただきますようお願い申し上げます。			
感染症対策について及び外部評価の報告 ※別紙参照 ・感染症対策について ①事業所における感染症防止対策について ②面会をされるご家族へのお願い ③実際に感染もしくは感染疑いの方がでた場合の対応 ・外部評価の報告 平成28年10月25日(火)に、NPO法人九州評価機構より外部評価を受けました。 外部評価は、事業所が提供しているサービスの内容について、第三者の立場から客観的視点で行われる外部評価の結果と自己評価を対比して、サービスの質の向上を図ることを目的としています。 <評価内容>書面調査・自己評価調査、家族アンケート 訪問調査 <評価結果> 小学校や保育園を始め、地域との関わりを年間を通じて持っていること、食事を事業所自体で毎食作って提供しているグループホームが少なくなってきたなかで、毎食きちんと手作りの食事を提供していることを評価していただきました。(この点に関して管理者よりの補足説明あり) <今後の目標について> ・グループホームらしいアットホームなゆったりとした雰囲気職員が作り出せるようにする(雰囲気作り) (忙しい業務の中でも忙しさをださないように努力する) ・入居者の自立支援を重視したケアの実施 ・入居者の転倒リスクが高い場面・状況を職員がいつも意識して行動すること			
ささえりあ熊本西様より 今回は餅つき会とのことですが、熊本市の餅つき大会でノロウイルスによる食中毒が起こっていることもあり、餅つきでの食中毒予防について資料を準備しました。(※内容に関しては別紙資料参照) <⑤餅をこねる、丸める等、食品に直接触れる作業を行うときは、手指を石けん等で十分洗い、可能な限り使い捨て手袋・マスクを使用する。⑦ついた餅はぜんざいや雑煮、焼餅等にし、十分加熱するのが好ましい。⑧餅の持ち帰りや配布はしない。等> それで、今回はできあがった餅は、加熱調理ができるぜんざいとしてお出しし、お土産としてのお餅の準備は控えさせていただくことにしました。何卒ご理解いただければと思います。(計画作成担当者より)			
質疑・応答 特になし			
事業所名	記録作成者 平成29年1月5日		
グループホームさくらの里	吉富 篤		